

## 令和3年12月市長定例記者会見

日 時：令和3年12月7日（火） 午後4時～

場 所：射水市役所会議室401

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、北陸中日新聞、読売新聞、北日本放送、  
エフエムいみず、庄東タイムス

当局出席者：市長、企画管理部長、財務管理部長、企画管理部次長、  
未来創造課長、環境課長、道路課長、  
新型コロナウイルスワクチン接種推進班長

### ○質疑応答の概要

Q1. 新型コロナウイルスワクチンの3回目の接種について、2回目の接種の後の間隔は8か月のままにするのか、それとも6か月に短縮するのか。短縮するとしたら懸念されることはあるか。

A1. 現状、国からは8か月を基準とするという話を聞いており、6か月に短縮するというのもあくまでも既存ワクチンのオミクロン株に対する効果をしっかり確認したうえで可能な範囲で前倒しを図っていくという趣旨だと捉えている。オミクロン株に対する効果や、その効果を発現させるためのワクチンの取扱いなどの情報を国から出していただいたうえで、少しでも前倒しが必要であるということであれば本市としても対応してまいりたい。ただ、現状においては、そうした情報がまだ手元にないので、8か月を基準とした接種を進めるということで準備をしている。

Q 2. 道路除雪について、一昨年度からの実証実験における IOT の活用効果について伺いたい。

A 2. 一昨年度は積雪センサーを設置して積雪の状況を計測して迅速・適切な出動につなげようという実験を行ったが、センサーを設置した場所については、道路除雪をした際の雪の山やわだちの影響で正確な数値を確認できなかった。そうした状況から、今回の本格実施ではそういった除雪作業の影響を受けない場所に設置して、あくまでも新たに雪が降り積もる状況の把握のため、センサーを活用しようと考えている。また、昨年度については、道路監視カメラを市内3か所に設置して検証を行ったが、雪捨て場の混雑状況や圧雪状況などを実際に映像で確認しながら対応できるということが分かった。このことから、今年度は国道や県道に接続するような市の主要道路や雪捨て場にカメラを設置した。県のほうでも新たに14か所設置し、市内で15か所カメラが設置されることになる。こういったカメラを活用しながら効果的な除雪に努めたい。

Q 3. IOT を活用した除雪について、センサーを用いて職員が行かなくても迅速に出動できるようにするという事なのか。

A 3. センサーが設置されている場所については、センサーの数字をもとに判断できればと思う。しかし、あくまでも市内6か所でそれぞれのエリアの目安としてのセンサーの数値と捉えているので、必要に応じて現地確認を行って出動を判断することになる。そういった部分については、市の公式 LINE アカウントなどで市民の皆さんから情報提供などをいただきながら、適切な対応ができるようにしていきたい。

Q 4. 大雪になった時に、例えば県道である旧 8 号線などの状況を市として早めに改善してほしいという要望があった場合、対応できないのか。

A 4. 今年の 1 月の大雪を踏まえて、県においても従来の除雪の体制の見直しを図られたとお聞きしている。市道も同様に、日中の除雪出動対応がなかなかできなかったことが道路状況を悪化させた要因のひとつだと検討しておられたと認識している。そういったことから、県道については県で行うというのが基本だと思っている。しかし、市道と県道の交差点などについては県や高岡市と話し合いをしながら、除雪車が先に到着したほうがその交差点を除雪するなどの対応をしていくことにしている。また、この 1 月の大雪の状況から考えると対応できる部分も限界があるのが現状である。県と連携を図りながら、除雪対応をしてほしいという要望に対し県では除雪車が出動できないという話であれば市で出動するなど、連携を取って対応したい。

Q 5. 18 歳以下に 10 万円を交付する国の事業について、最初の 5 万円の支給は年内に間に合う見通しか。

A 5. この後、議会で追加提案したいと考えており、詳細までは申し上げられないが、現状では市の児童手当の情報を活用し中学生までの方については年内支給できればと考えている。ただ、高校生や公務員の家庭のお子さん、新生児など児童手当の情報で追えない方については、現状としては申請をしていただいて給付するという形になる。その申請が早ければ年内の支給が可能なのか、それとも年明けになるのかについては詳細を詰めなければならないが、出来るだけ早く給付できるように努めてまいりたい。

Q 6. その後に支給されるクーポンによる残りの5万円については、いつごろになりそうか。

A 6. 国から情報を得た上で、議会に相談してご意見をいただかなくてはならないが、国においても様々な情報が錯綜しているようで、そういった中で市としてもきちんとした方針や情報をいただければと考えている。「5万円を現金、5万円をクーポン」ではなく市の状況によっては10万円現金で出してもよいという話も出ているが、そういったことがどういった条件によって認められるかも把握しておらず、国のほうからしっかり情報をいただければと思っている。現状では、5万円は現金給付ということで、年内に可能な限り早く支給したいと考えている。残りの5万円相当については、事業の実施の方向やクーポンを使う場合にどういった事業者にご協力いただけるのかもこれからのところがあり、時期的には来年の春になるのではないかと考えている。入学、進学に向けて子育てに関わる商品やサービスに利用できるものとして給付するということなので、新学期が始まる前の支給を検討していかなければならないと考えている。